

文部科学省 採択事業について

地域の介護福祉DXを推進できる人材育成プラットフォームの構築
(生体計測・ロボット・VR/ARの導入と高度活用)

1. 今回採択の事業
2. 介護福祉DXが必要となる背景
3. 連携体制
4. 本事業における取組
5. 現時点での取組状況

東日本国際大学

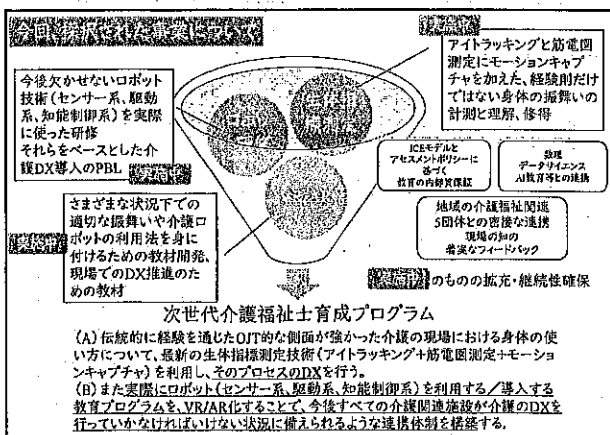
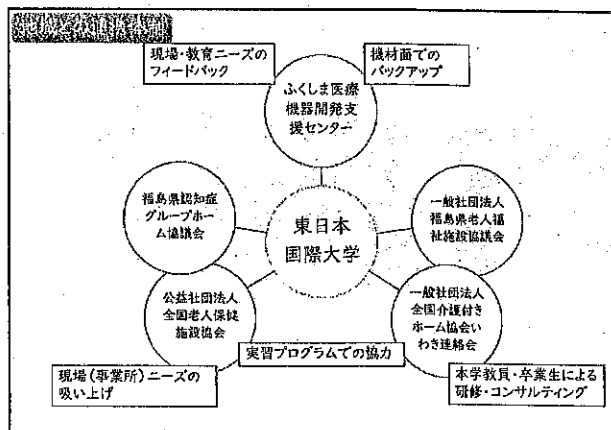
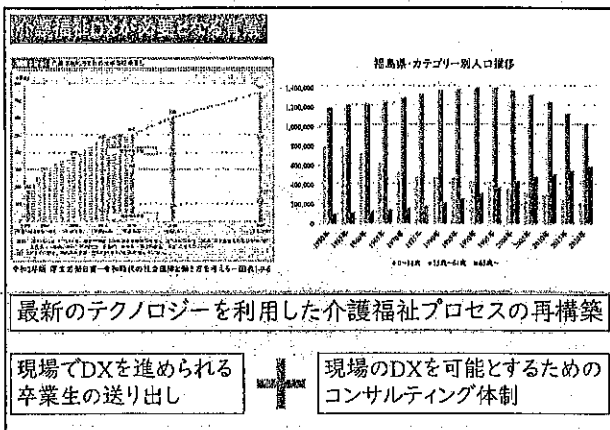
地域の介護福祉DXを推進できる人材育成プラットフォームの構築
(生体計測・ロボット・VR/ARの導入と高度活用)

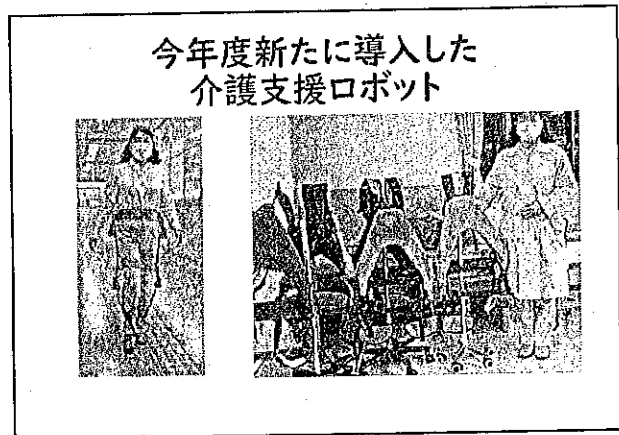
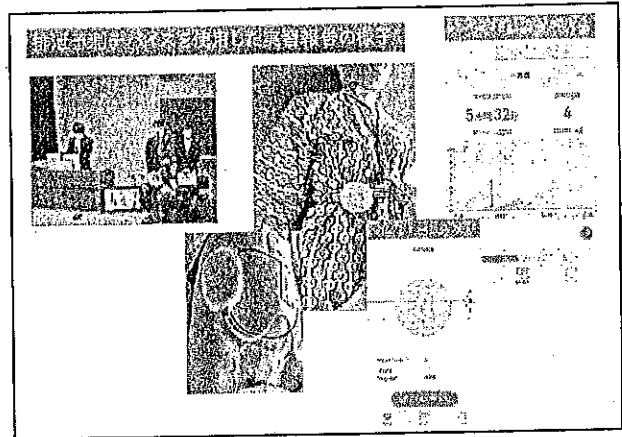
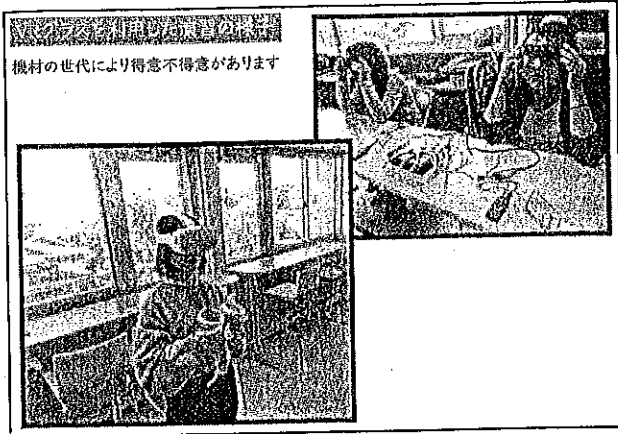
介護福祉 × DX (デジタルトランスフォーメーション)

文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる
産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」

デジタル社会への環境変化に対応した資質・能力を涵養するため、DX教育設備を活用した教育カリキュラム開発や実験・実習の高度化など、「デジタル×専門分野」の教育を進め、我が国の産業等のデジタル化・高付加価値化をけん引する高度専門人材育成を加速することを目的とします。 文部科学省公募要領 p.1「目的」

公募期間	令和3年12月24日～令和4年1月26日
結果公表	令和4年3月11日
採択/応募数	39/99(私立大学(短大1校含む)は12/34)
事業補助期間	令和4年度





今後取り組み予定のもの

VR (仮想現実) で、認知症の方や発達障害の方の心情を理解

AR (拡張現実) で、介護技術演習

MR (複合現実) で、デジタル介護アーカイブの作成

※視線計測、モーションキャプチャ、筋電計測などにより、科学的根拠のある介護福祉の技術データを積み上げる。

おわりに

産業DX補助金事業に採択されたのは、介護福祉分野として全国ただ1校のみ。

保健・医療・福祉分野でのDX化は、東日本国際大学が牽引するくらいの意気込みで臨んでいるので、今後もご支援いただきたい。

ご清聴ありがとうございました。